

令和6年度 自己点検・自己評価施設関係者評価報告書

令和7年4月1日

社会福祉法人 中央保育所
幼保連携認定こども園 中央こども園

1. 本園の教育・保育目標

本園は、『自分も友だちも大切にできる子どもの育成』を目指す。

多様化する個性に寄り添いながら、主体性を尊重し、保護者や地域社会と力を合わせ、心身共に健やかな育成をする。家庭的で居心地の良い居場所作りに心がけ、ゆったりとした温かい雰囲気の中で、自由に伸び伸び意欲的に遊ぶ力を育むことを目標とする。

- 強い心を持つ子ども
- 感性豊かな子ども
- 自然を大切にする子ども
- つながりを大切にする子ども

2. 本年に取り組むべき課題

職員の質・意識を高め、一貫した教育・保育が展開できるよう、職員間の連携やコミュニケーションの充実を図る。チームで保育している意識を持ち、何でも話し合える場や時間が確保できるよう努める。園内だけでなく、小学校との繋ぎがスムーズにいくよう、小学校との接続を大切にし、連携を増やしていく。

3. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

令和6年度は、0歳児～5歳児まで保育・教育が繋がっていくよう意識した。特に0.1.2歳児では、子どもたちの気持ちを大切にした保育室になるよう環境を整えたり、片付け方や玩具の配置など見直したりした。子どもたちの「好き」が遊びに繋がるよう意識することで、遊びが広がり、安心感を持って心地よく過ごすことができた。

また、地域との交流では、春に夏野菜植えと一緒にしたことがきっかけで、野菜を使ったクッキングをし地域の方を招いてパーティーをしたいと、子どもたちから声があがり実現できた。「カレーパーティー」で親睦を深めることにより、クリスマス会にも招待し、地域の方も喜んで参加していただけた。

小学校との連携では、小学校行事の音楽祭やマラソン大会に招待してもらい交流することができた。小学校行事に参加したことで小学生への憧れや卒園したら小学生になるという意識を高めることができた。

研修では、職員の質を向上するために積極的に受講している。小野市以外の研修も積極的に受講できるよう、もっと働きかけていきたい。

保護者支援では、懇談の時間を設け、安心して話せるよう配慮したり、毎日の送迎時や連絡帳を通じて成長の喜びを共有したりしている。これからも、保護者の思いを大切し、安心して利用してもらえるようサポートしていきたい。

社会福祉法人 中央保育所

幼保連携認定こども園 中央こども園

園長	小垂恵美
主幹保育教諭	坂本雅希
主幹保育教諭	福田直美
栄養士	藤原裕衣